

塗 装 仕 様 書



ROCK PAINT

塗装略号	: 2-XE
塗装仕様	: 建物用床塗料(2液型エポキシ樹脂塗料・ツヤ有り)(塗り替え)
上塗塗料名	: 082ライン ユカロック2000番級
規格	: ー
素材	: コンクリート、モルタルなど
部位	: 床

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名 希釈率%	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね 可能時間 (23°C)
1	下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れ等は高圧水洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。			
2	下塗り	082-2150 ユカロック2000番級速乾プライマー 主剤 硬化剤 通常不要 (エポキシシンナー)	0.15~0.2	—	4h以上 3日以内
3	上塗り	082ライン ユカロック2000番級 082-2XXX ベース 指定色 主剤 082-2910 硬化剤 配合比(重量) 主剤3:硬化剤1 塗装方法 刷毛・ローラー、エアレス 塗装回数 1回 塗布面積 80~106m ² /16kgセット・回	016-0061 エポキシシンナー 刷毛・ローラー 10~20 エアレス 40~50	0.18~0.25	— 8h以上 7日以内
4	上塗り	082ライン ユカロック2000番級 082-2XXX ベース 指定色 主剤 082-2910 硬化剤 配合比(重量) 主剤3:硬化剤1 塗装方法 刷毛・ローラー、エアレス 塗装回数 1回 塗布面積 60~90m ² /16kgセット・回	016-0061 エポキシシンナー 刷毛・ローラー 10~20 エアレス 40~50	0.18~0.25	—

施工上の要点および注意事項

- 塗料をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 気温が低いとき、湿度が高い場合には完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、塗装中および塗装後24時間は5°C以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 有機溶剤を含有していますので、塗装作業中及び乾燥時の換気と火気厳禁を守ってください。
- 希釈には必ず専用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- 常時水の溜まる所は塗装を避けるか排水処理を完全に行ってから塗装してください。
- セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラー、樹脂モルタルを用いて補修、不陸調整を行ってください。
- ワックスを使用している床面は付着性を損ないますので、ワックス剥離剤などで除去し、水洗い、乾燥を十分に行った後、塗装してください。
- 施工後ゴム製品など可塑剤を含むものを長時間置くと軟化し粘着性が生じるため置かないでください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温20°C、湿度65%の場合)
- 改修塗装の場合、下地の種類や処理方法によって付着不良やリフティング等の塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りを行った後、仕様を決めてください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。弊社担当営業にお問い合わせください。
- 表面に光沢のある高密度コンクリート、強化コンクリート、カラーコンクリート床の場合、塗料が浸透しにくく、付着性が十分に発揮できませんので弊社営業にお問い合わせください。
- 082ライン 速乾プライマークリヤーの可使時間は4時間(23°C)です。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し可使時間内に使用してください。
- 082ライン ユカロック2000番級の可使時間は8時間(23°C)です。
- 082ライン ユカロック2000番級の歩行可能時間は24時間(23°C)です。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- 082ライン ユカロック2000番級の硬化剤はアミンフリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5°C以下)になる箇所への使用はできません。
- 上塗りに骨材(珪砂6号)を混合することで、滑り止め効果を持たせることができます。
- 塗装用具の洗浄には専用シンナーを使用してください。
- 新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。

塗 装 仕 様 書



塗 装 略 号	: 2-XE
塗 装 仕 様	: 建物用床塗料(2液型エポキシ樹脂塗料・ツヤ有り)(塗り替え)
上 塗 塗 料 名	: 082ライン ユカロック2000番級
規 格	: ー
素 材	: コンクリート、モルタルなど
部 位	: 床

- ・ 塗装間隔は守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- ・ 各工程の塗装間隔、塗付量や希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・ 下塗り塗料塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- ・ 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- ・ 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ・ 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・ スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- ・ 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- ・ 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- ・ カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ・ 本仕様中の製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようご指導ください。
- ・ 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立て看板等を設置し、化学物質過敏症並びにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
- ・ 掲載されている塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- ・ 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび労働災害事故防止のため、安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。